

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第16回 企画・広報分科会
2017年度活動報告・2018年度活動計画(案)**

2018年3月15日
企画・広報分科会

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

松本 幸則（パナソニック 全社CTO室 技術戦略部 技術戦略課 主幹）

（サブリーダー）

村田 稔樹（沖電気工業 研究開発センター スペシャリスト）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

2017年度の活動報告①

1. 創造系活動

- ① WG活動費をWGに配分し、WG活動の支援を継続した。出展費用、実験費用などに活用していただいた。
- ② 8月に全会員向けに要望アンケートを実施。また、シンポジウム、セミナーの機会にアンケートを実施し、協議会活動への要望等を調査した。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2017「興福寺中金堂再建記念－文化財×ICT－」を開催した（12月5日、興福寺会館、奈良市）。
- ② 総会での講演会を企画、実施した（NICT隅田英一郎氏による講演、6月7日、けいはんなプラザ）。
- ③ セミナーの開催による情報提供、人材育成の実施（IoTサービスの創出に向けて・2月16日、ATR）。
- ④ けいはんな情報通信フェア2017（10月26-28日、けいはんなプラザ）において、ブース展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施。
- ⑤ ウェブページの充実により、協議会活動の一層の情報発信、普及・啓発活動につとめた。**動画サイトでの情報発信を開始した。**
- ⑥ 他団体主催のシンポジウム、セミナーと共催、協賛をおこなったり、展示会を後援するなど、3件の共催、協賛、後援イベントをおこなった。他団体と共同でプレゼンスを高めるとともに、情報交換、交流をおこなった。また、引き続き、関西ICT研究交流連絡会を通じたイベント情報の交換をおこなった。
- ⑦ **農業ICT準備WGの活動方向の検討をおこなったが、明確な方向性を定めるに至らず、本準備WGを一旦廃止し、会員ニーズに合ったテーマを別途模索する。**

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動として、研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設の維持、整備を実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けた広報を継続。オープンラボ施設の利用者は1社退去し、現在5社が入居中。

2017年度の活動報告②

	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月
企画・広報分科会	● 第15回 分科会 (3/17)												● 第16回 分科会 (3/15)
創造系活動					WG活動支援 ● テーマ、ニーズ調査								
促進系活動	→ 総会企画準備				→ シンポジウム開催準備				→ セミナー開催準備				
整備系活動					随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)								
					けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用								
農業ICT 準備WG					JGNなどのネットワーク施設整備・運用								
					方向性の検討、打ち合わせ、ヒアリング、動向調査								
【協議会関連】					● 第17回 運営研究 部会 (5/11)				● 第16回 総会 (6/7)				
									● けいはんな 情報通信 フェア2017 (10/26-28)				● 協議会主催 シンポジウム [興福寺会館] (12/5)
					事務局打合せを月1回程度開催								

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2017 開催結果

○日時：2017年12月5日(火) 13:00～17:00
 ○場所：興福寺会館(奈良市)
 ○来場者数：106名(交流会40名、アンケート回収数63)
 ○主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
 ○共催：(公社)関西経済連合会、(国研)情報通信研究機構、総務省近畿総合通信局、(公財)関西文化学術研究都市推進機構
 ○協力：法相宗大本山興福寺
 ○概要：文化庁の京都への一部移転もひかえ、文化財が集積している関西の地において、文化財とICTとの関わりや、文化財の保存と活用にICTがどのように寄与できるかなどについて議論する機会をもうけるという趣旨で、興福寺様のご協力を得て開催しました。文化財の研究や保存のために活用されるICTについて、最前線で活躍されている方より講演をいただきました。再建中の興福寺中金堂特別見学会も開催し、中金堂の屋根を足場から間近に見ることができ、文化財を守り伝えていく意気込みを感じました。来場者からは、文化遺産の保存や活用にICTが使われているのを大変興味深く感じた、もっとICTが役立てるよう研究開発を進めるべき、などの感想をいただきました。

○プログラム「興福寺中金堂再建記念ー文化財×ICTー」
 ◆開会挨拶 九津見 洋氏(当協議会理事、運営・研究部会長)
 ◆講演「天平の文化空間の再構成」
 多川 俊映氏(法相宗大本山興福寺貫首)
 ◆講演「X線CTを使った文化財の健康診断」
 今津 節生氏(奈良大学文学部文化財学科教授)
 ◆2018年落慶の中金堂特別見学
 (解説) 國樹 彰氏(株式会社瀧川寺社建築副社長)
 ◆講演「電磁波を用いた文化財の調査と展示への活用」
 福永 香氏(国立研究開発法人情報通信研究機構
 電磁波研究所電磁波応用総合研究室長)
 ◆講演「木簡データベース構築の歩み」
 ー木簡くずし字解読システムMOJIZO
 渡辺 晃宏氏(独立行政法人国立文化財機構
 奈良文化財研究所副所長)
 ◆閉会挨拶 小野寺 昭彦氏(総務省近畿総合通信局 情報通信部長)
 ◆交流会



九津見 洋氏 多川 俊映氏 今津 節生氏 福永 香氏 渡辺 晃宏氏 小野寺 昭彦氏



講演会場の様子



見学会の様子

交流会の様子



セミナー「IoTサービス創出に向けて」開催結果

- 日時：2018年2月16日(金) 13:30～17:00
- 場所：株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)
- 来場者数：54名(アンケート回収数17)
- 主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
- 共催：近畿情報通信協議会
- 概要：

IoTサービスの創出・展開に向けた、産学官の交流、マッチング、情報交換の場とすることを目的とし、本セミナーを開催しました。IoT向けに活用が期待されている技術の開発やIoTサービスの実証事業に取り組む講師より、IoTサービスの創出・展開に当たり克服すべき技術課題や社会的課題、さらに、解決への方策について講演いただきました。途中、ATR様、東レ建設様などが総務省の支援を受けて実証実験をされている実証農園「トレファームラボ」を見学させていただきました。出席者からは、IoTにより農業を身近にし、コミュニティ形成に役立てることを目指した新たなスタイルに興味を持った、LPWA技術についてわかりやすく整理していただけてよく理解できた、などの感想をいただきました。

○プログラム「IoTサービス創出に向けて」

- ◆開会挨拶
辰巳 真起子 氏(株式会社国際電気通信基礎技術研究所 事業開発室 担当課長)
- ◆講演1「総務省『IoTサービス創出支援事業』等の状況」
長坂 泰宏 氏(総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 課長補佐)
- ◆講演2「高床式砂栽培とシェアリング農業実証事業について」
小倉 久弥 氏(東レ建設株式会社 トレファーム事業推進室 室長代理)
- ◆見学会 実証農園「トレファームラボ」
- ◆講演3「IoT向け無線センサネットワーク技術LPWAの最新動向」
阪田 史郎 氏(千葉大学 グランドフェロー)
- ◆閉会挨拶
村上 利男 氏(総務省 近畿総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課 課長)



辰巳 真起子 氏

長坂 泰宏 氏

小倉 久弥 氏

阪田 史郎 氏

村上 利男 氏



見学会の様子



講演会場の様子

2017年度共催、協賛、後援イベント

(1) けいはんな情報通信フェア2017

日時: 2017年10月26日(木)~28日(土)

場所: けいはんなプラザ、ATR

主催: けいはんな情報通信フェア実行委員会、(国研)情報通信研究機構、(株)国際電気通信基礎技術研究所、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、(公社)関西経済連合会

協賛: 大阪電気通信大学、オムロン(株)京阪奈イノベーションセンター、京セラ(株)中央研究所、慶應義塾大学、(株)けいはんな、(株)島津製作所基盤技術研究所、同志社大学、奈良先端科学技術大学院大学、日本電産(株)生産技術研究所、日本電信電話(株)NTTコミュニケーション科学基礎研究所、パナソニック(株)ビジネスイノベーション本部、(国研)防災科学技術研究所、(国研)量子科学技術研究開発機構関西光科学研究所、近畿情報通信協議会、**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会**、次世代安心・安全ICTフォーラム、グローバルコミュニケーション開発推進協議会、日本郵便(株)近畿支社



(2) 災害・危機管理ICTシンポジウム2018 - 災害時の情報流通とプライバシー保護 -

日時: 2018年2月9日(金) 13:30~16:45

場所: パシフィコ横浜アネックスホール

主催: (国研)情報通信研究機構、次世代安心・安全ICTフォーラム

共催: **けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会**



(3) Cloud Days 関西 2018、Security 関西 2018、IoT Japan 関西 2018、FACTORY 関西 2018、ビジネスAI 関西 2018、働き方改革 関西 2018

日時: 2018年3月8日(木)~9日(金)

場所: グランフロント大阪

主催: 日経BP社

後援: 総務省近畿総合通信局、経済産業省近畿経済産業局、福井県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、近畿情報通信協議会、地域ICT推進協議会、(一財)関西情報センター、(一社)関西ニュービジネス協議会、(一社)関西経済同友会、(公財)大阪産業振興機構、(公財)新産業創造研究機構、(公社)関西経済連合会、特定非営利活動法人ITC近畿会、**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会**、ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合、大阪府中小企業団体中央会、JIET日本情報技術取引所関西支部

情報発信の強化～YouTube公式チャンネルの開設～

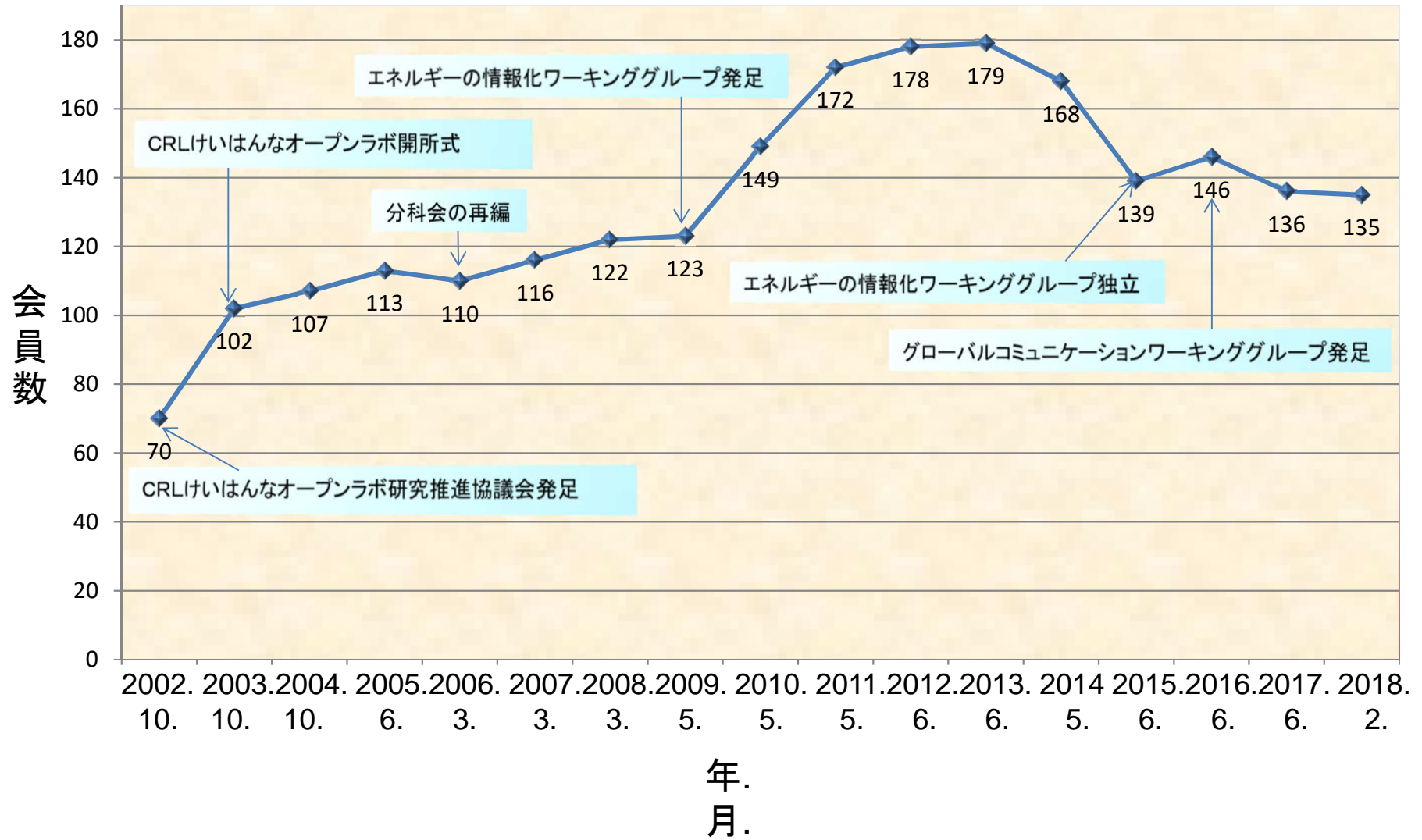
- 活動成果の発信力をより強化するため、YouTubeに公式チャンネルを開設
 - チャンネル名 : Kei-han-na OpenLab, Research Promotion Council
 - 内容 : WG活動の成果を中心に動画を発信
 - 使用言語 : 英文
 - 公開開始 : 2017年4月20日
 - IoTネットワーク基盤分科会作成の動画を公開



「チャンネル紹介」

「成果紹介」

会員数の推移

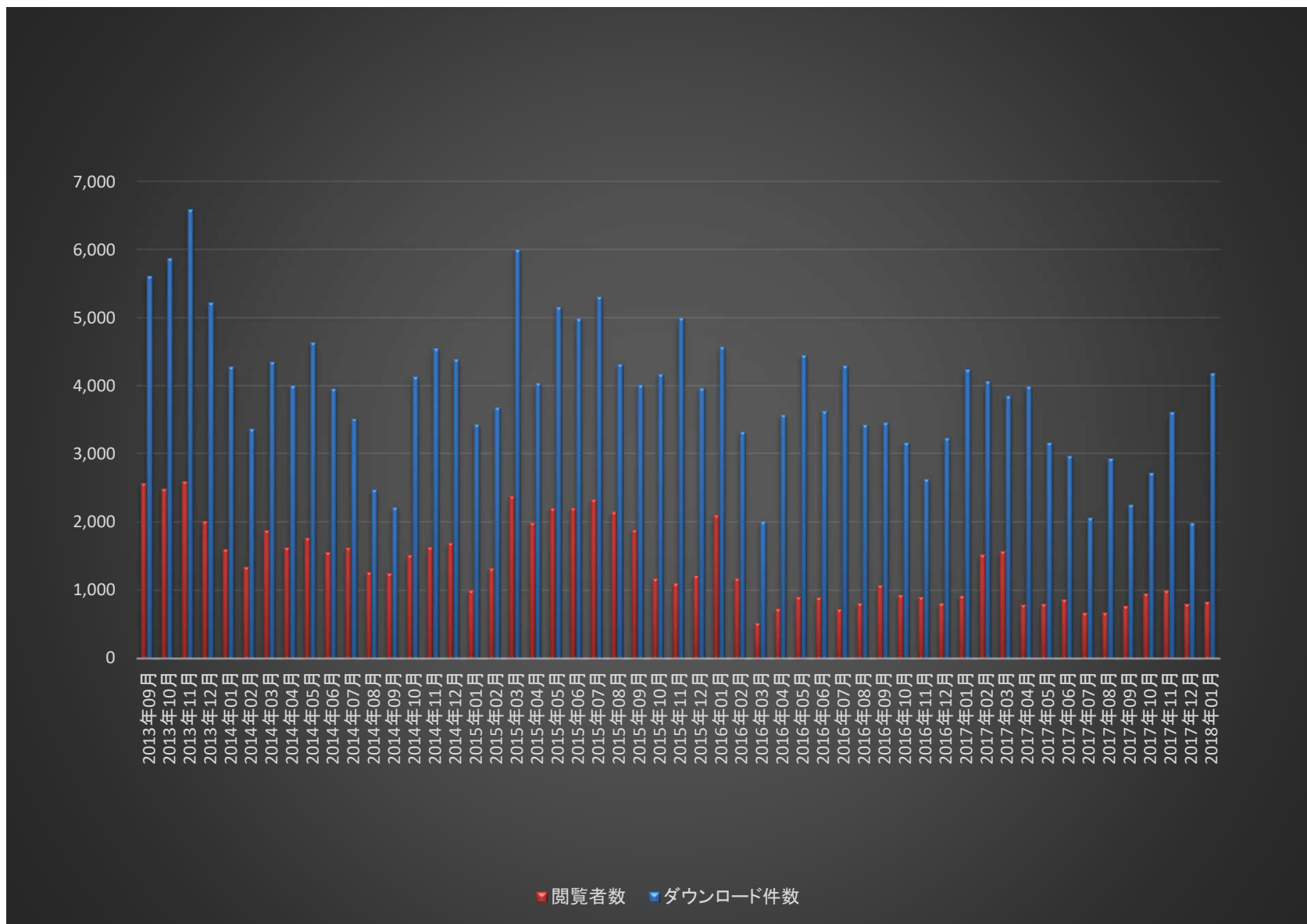


分科会参加人数（2018年2月現在）

IoTネットワーク基盤分科会	
分科会（のべ人数）	37
相互接続性検証WG	37

ユニバーサルコミュニケーション分科会	
分科会（のべ人数）	45
ユビキタスネットワークロボットWG	12
映像コミュニケーションWG	6
気象レーダーWG	5
グローバルコミュニケーションWG	22

ウェブサイト アクセス数



一定数のアクセスを得ているが、より効果的な広報の取り組みを検討。

2018年度の活動計画①

1. 創造系活動

- ① WG活動費によるWG活動の支援を継続。
- ② 会員アンケート、ニーズ調査を実施し、**新たな産学官連携テーマを模索。**

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2018の開催（11月～12月予定）。
- ② 総会において、講演会を企画（5月23日、けいはんなプラザ）。
- ③ セミナー、見学会などの開催による情報提供、人材育成の実施。
- ④ けいはんな情報通信フェア2018において、ブース展示による研究活動紹介、広報活動（10月25日～27日、けいはんなプラザ）。
- ⑤ ウェブサイト、動画サイトを活用した協議会活動の一層の情報発信や広報・啓発活動の強化。
- ⑥ 他団体（グローバルコミュニケーション開発推進協議会、次世代安心・安全ICTフォーラム、AC・Net、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム等）と共催、協賛イベントの開催や情報交換、交流、連携促進。引き続き、関西ICT研究交流連絡会を通じた連携。
- ⑦ 地域の研究開発活動との連携を強化する。

3. 整備系活動

- ① 研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設を含むオープンラボ施設の維持、運用と充実に向けた活動の実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けた広報の実施。

2018年度の活動計画②

	2018年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月	4月	
企画・広報分科会	● 第16回 分科会 (3/15)									● 第17回 分科会 (3~4月)				
創造系活動				WG活動支援										
				ニーズ調査、テーマ検討、体制整備										
促進系活動	→ 総会企画準備			→ セミナー開催準備			→ シンポジウム 開催準備			→ セミナー開催準備				
				随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)										
整備系活動				けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用										
				JGNなどのネットワーク施設整備・運用										
【協議会関連】	● 第18回 運営研究 部会 (5/10)		● 第17回 総会 (5/23)	● セミナー (9月頃)			● けいはんな 情報通信 フェア2018 (10/25-27)	● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)			● セミナー (2月頃)	● 第19回 運営研究 部会 (4月~5月)		
				事務局打合せを月1回程度開催										

農業ICT準備WG

○設立の趣旨

人工知能やIoT、ロボット技術などICTの活用が農業分野にも及んできている。これらを農業分野で活用することにより「スマート農業」の実現を加速し、生産現場のみならずサプライチェーン全体で、農業や食関連産業における生産性や付加価値を一層高めるツールとしての利用が期待される。

2016年度に開催した、農業ICTに関するシンポジウム、セミナーでは、大勢の方にお越しいただき、多くの方のご興味、ご関心のあるテーマであると考えられる。そこで新たな産学官連携のテーマとして、農業ICT準備ワーキンググループを設置し活動することとした。

○体制

主査: 金谷重彦 奈良先端大教授

○これまでの主な活動

2016.11.29. 京大農場でのシンポジウム「最先端スマートアグリ ～ 技術とビジネス ～」、57名出席。

2017.03.08. グランフロント大阪でのセミナー「ICTを活用した農業」、51名出席。

2018.02.16. ATRでのセミナー「IoTサービス創出に向けて」、54名出席。

○活動に向けた検討状況

- ・上記のセミナーなどでのニーズ調査、意見交換。
- ・会員アンケートでのニーズ調査。
- ・農業関連のコンソーシアムの動向調査。
- ・有識者へのヒアリング。
- ・連携候補先へのヒアリング。

○今後に向けて

上記のような活動をおこなってきたが、農業ICTに対する興味、関心は高いものの、会員とのマッチングも整わず、個別のテーマで明確な方向性を定めるに至っていない。そこで本準備WGを一旦廃止し、会員ニーズに合ったテーマを別途模索する。